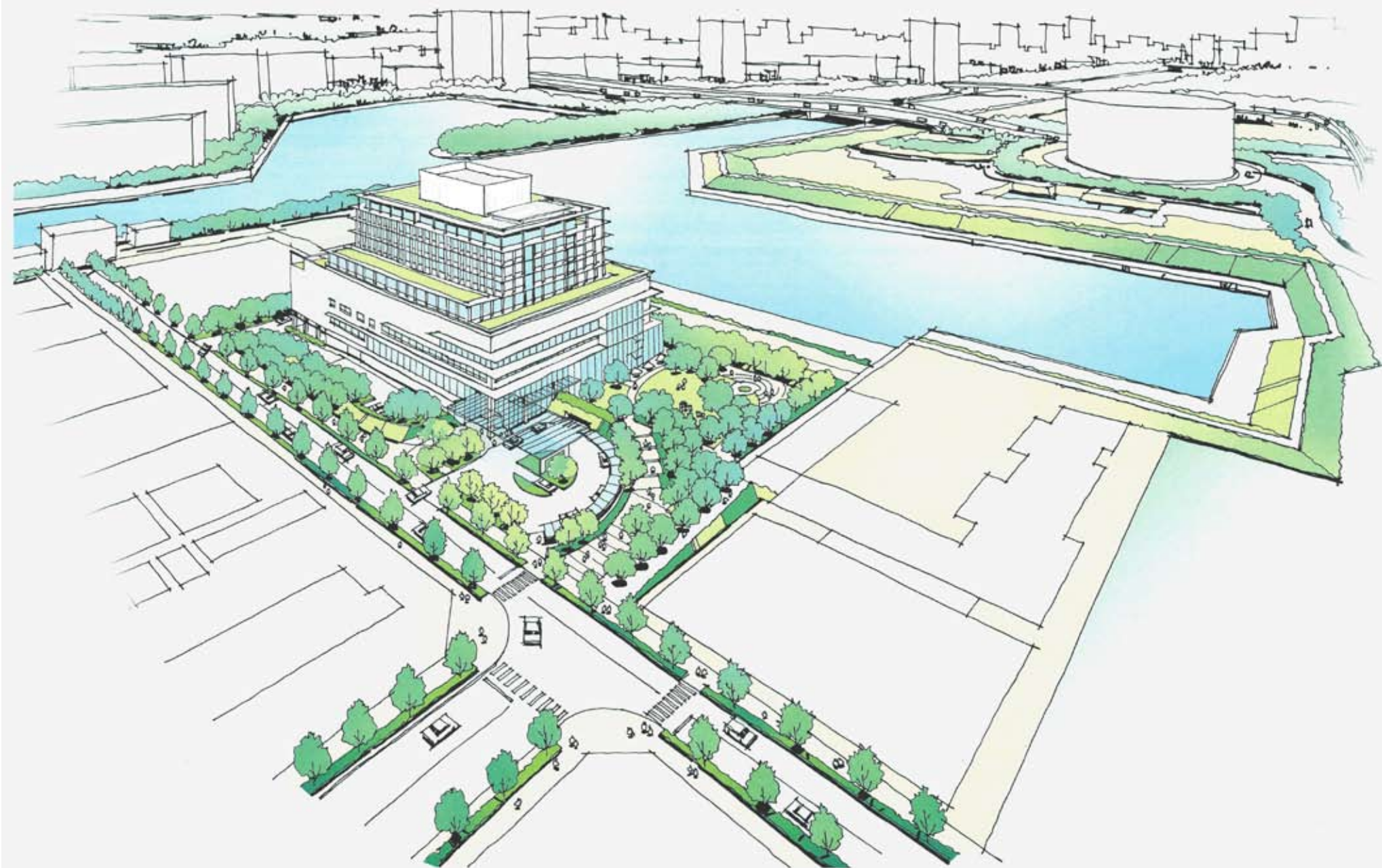


(仮称) 昭和大学新豊洲病院
実施設計概要書



実施設計の概要

■敷地の概要

住 所：東京都江東区豊洲5丁目1番（住居表示）
 敷 地 面 積：約15,000㎡
 所 有 者：江東区
 用 途 地 域：準工業地域
 基準建ぺい率：60％
 基準容積率：300％
 基準有効空地率：40％（「東京都再開発等促進区を定める地区計画運用基準」より）
 基準緑化率：40％（「新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針」より）

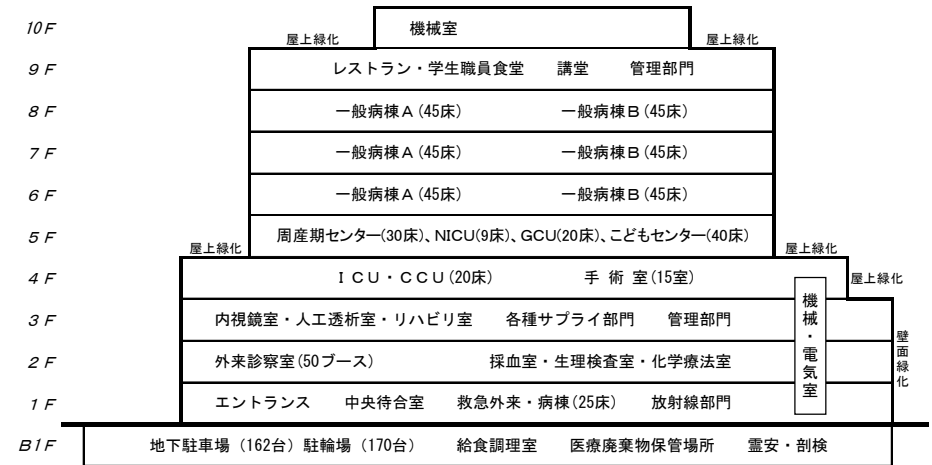
■建物の概要

主 用 途：病院
 建 築 面 積：約6,900㎡
 建 ぺ い 率：約46％
 容積対象面積：約39,300㎡
 容 積 率：約262％
 延べ床面積：約46,000㎡
 階 数：地下1階、地上10階
 最 高 高 さ：約53.5m（AP+4.0前面道路高さより）
 有 効 空 地 率：約43％
 緑 化 率：約46％
 駐 車 場：自動車162台（荷捌き用7台含む）
 自転車170台

■病院の概要

予定診療科目：内科（内科、呼吸器・アレルギー、神経、腎臓、糖尿・代謝）
 外科（一般外科、乳腺外科、形成外科）、消化器センター（消化器内科、消化器外科）、心臓血管センター（循環器内科、循環器外科）、脳神経センター（神経内科、脳外科）、救急センター、こどもセンター（小児内科、小児外科）、周産期センター、婦人科、整形外科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、精神科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、歯科
 病 床 数：414床（開院時300床）
 外 来 部 門：外来患者数1,000人／日、診察室50ブース
 救 急 部 門：二次救急医療、新生児救急医療
 新生児・周産期部門：NICU9床、GCU20床、周産期30床
 開院予定年度：平成25年度

■断面構成図



■工程について

平成22年	7月	基本設計完了・開設許可申請
	12月	実施設計完了
平成23年	1月	免震評定・大臣認定、建築確認申請
	6月	
	6月	工事着工
		（工期 30ヶ月）
平成25年	12月	竣 工
平成26年	1月	開設準備
	3月	
		開 院

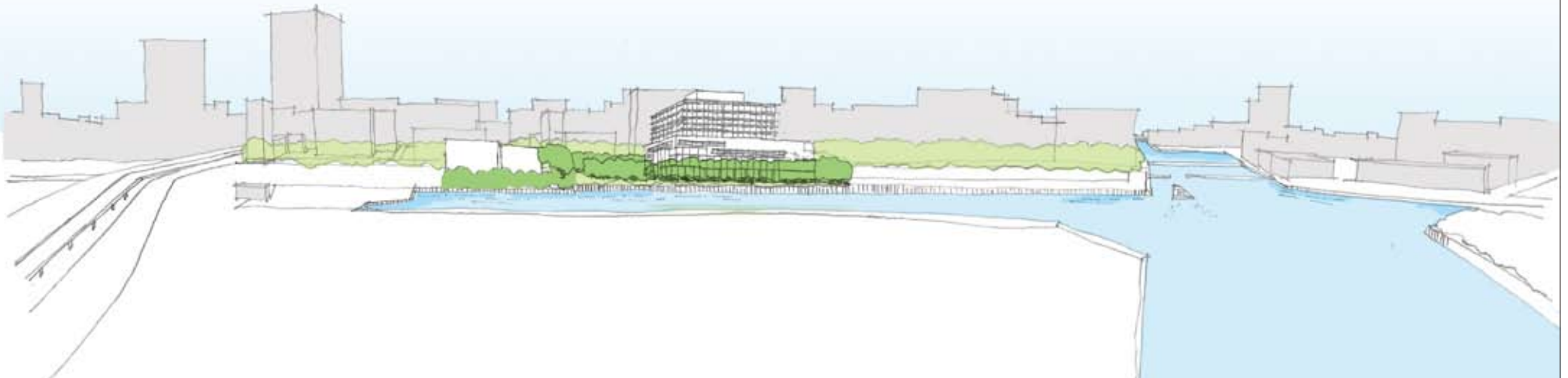
東電堀に建つ立地を活かして

豊洲地区景観ガイドラインにおいて、都市景観形成の4つの基本方針が設定されています。

- ①豊洲地区周辺エリアと調和したスカイラインを形成する
- ②周囲の水域の広がりと魅力を取り込んだビスタポイントを形成する
- ③魅力ある水際環境軸形成を先導する街並み景観を形成する
- ④都市環境軸のシンボリックな街並み景観を形成する

魅力ある水際空間の景観形成や、アメニティの高い歩行者空間を実現するため、「遠景」・「中景」・「近景」のそれぞれの視点に立った計画により、「パークホスピタル」の実現を目指します。

- 遠景 - まとまりのある水際の景観形成 -
豊洲らしさの創造＝地域との連携・つながり
- ・建物を大きなボリュームで構成するのではなく、分節化することでスケール感のあるシルエットをつくり出す
 - ・建物の凹凸や、庇、バルコニーによる彫が深く陰影のある外装計画
 - ・東電堀全体をつなぐ四季を感じる植栽計画
- 中景 - 水辺の街並み形成とにぎわい -
計画地の個性の創造＝街並み・東電堀へ向けた顔づくり
- ・建物のセットバックによる連続性をもたせた街並みの広がり
 - ・まちに開かれたエントランス空間や外構計画
 - ・オープンスペースによる緑のネットワークづくり
- 近景 - 安全で安らぎのある空間づくり -
人のつどい、景観の広がりを創造＝開放性と快適性の確保
- ・自然な風合いのある素材と人々を招き入れるエントランスの計画
 - ・夜間でも安全でバリアフリーに配慮した散策路や広場の計画
 - ・四季折々で変化のある外構計画



空間づくりの考え方 (遠景・中景・近景)

■遠景 - 豊洲らしさの創造=水と緑の連携

①周辺環境と一体となった景観の形成

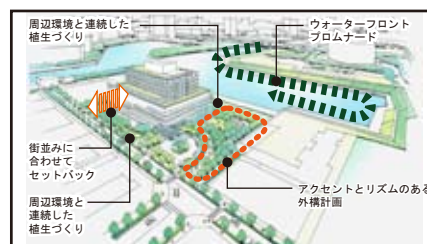
連続したスカイラインの形成、自然のつながり (緑、水辺空間)

②デザインの連続性

アクセントとリズムのある外構計画、魅力的な夜景づくり
街並みに合わせたセットバックやスカイラインの形成

③生態的なつながりの確保

周辺環境と連続した植生づくり (街区、水辺)
魅力あるウォーターフロントを形成する水辺の植生づくり



遠景



東電掘から



街区（ららぽーと）側から

■中景 - 計画地の個性の創造=街並み・東電掘へむけた顔づくり

①壁面線の後退と見通しの確保

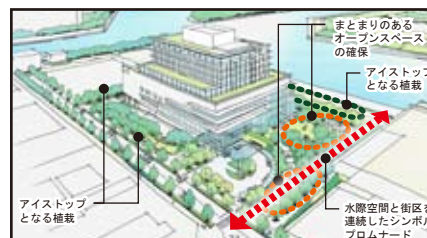
周囲と連続した壁面線の構成
まとまりのあるオープンスペースの確保

②ビスタの確保とアイストップによるメリハリのある外部空間

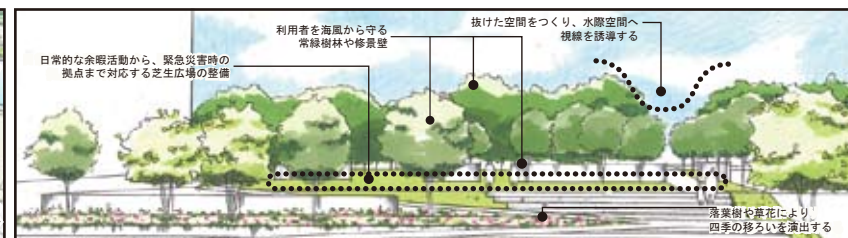
アイストップとなるアート・植栽計画

③水際空間と街区の連続

みどりの丘や水辺の広場とシンボルブロードウェイ



中景



区道側から

■近景 - 人の集い、景観の広がり創造=開放性と快適性の確保

①開かれた空間づくり

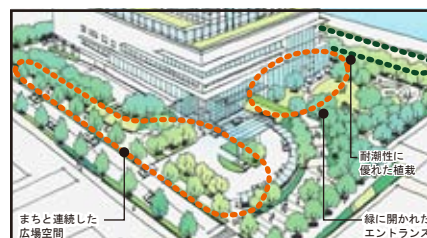
緑に開かれたエントランス空間、まちとの連続した広場空間

②安全で安心な空間づくり

歩行者空間、照明計画

③屋外空間に潤いをもたらす豊かな空間づくり

耐潮性に優れた樹種を選定した、テーマ性のある植栽計画



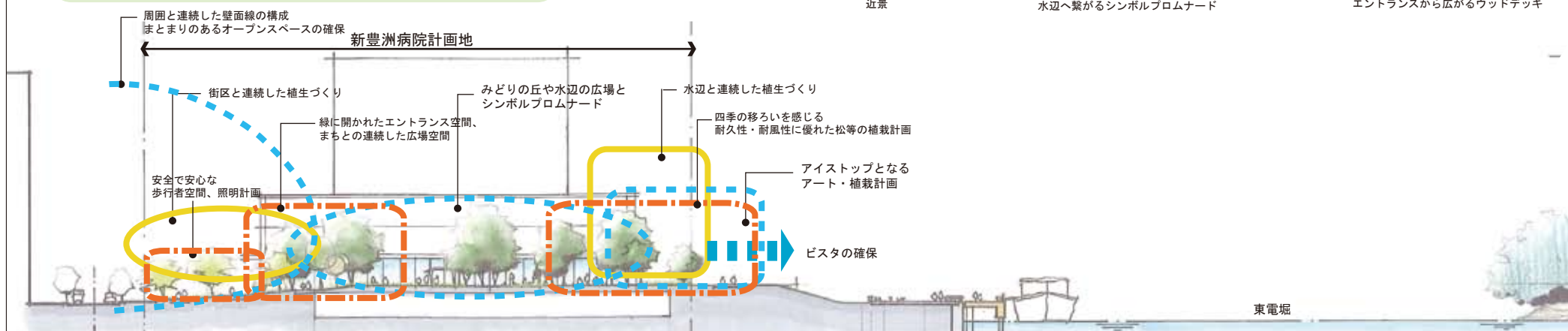
近景



水辺へ繋がるシンボルブロードウェイ



エントランスから広がるウッドデッキ



東電掘

□「パークホスピタル」の実現に向けた外観の考え方

計画地は堤外地であり、現在は良好な水際空間を地域住民が自由に享受できる環境にはありません。

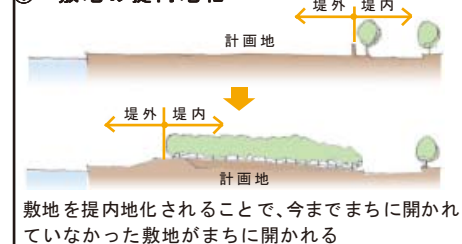
(仮称)昭和大学新豊洲病院は、東電堀の連続した水際空間と緑のネットワークをつなぐことで、新防潮堤が整備され、隣接する小学校や将来計画されている文化・レクリエーション施設の建設に対して先導的な役割を果たします。

「敷地と周辺環境」との連続性、「建物と外部空間」の関係から、建物配置や外構の計画を行なうことで、良好な街並みの形成に貢献する建物の外観デザインとします。

また、豊洲地区の景観を担う「パークホスピタル」としてだけでなく、地域の環境負荷低減にも貢献する「エコホスピタル」として、(仮称)昭和大学新豊洲病院を計画します。

○敷地と周辺環境との考え方

① 敷地の堤内地化



② 敷地と周囲をつなげる



③ 人と空間をつなげる



○建物と外部空間の考え方

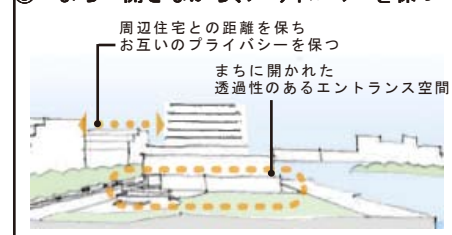
① オープンスペースを確保する



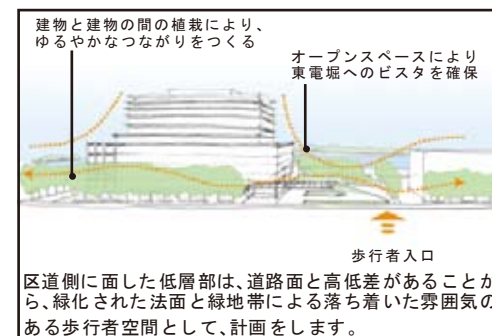
② ボリュームを分割してスケールを小さくする



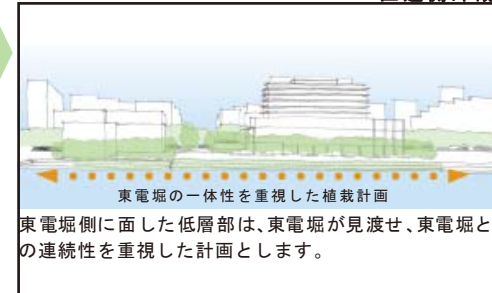
③ まちへ開きながら、プライバシーを保つ



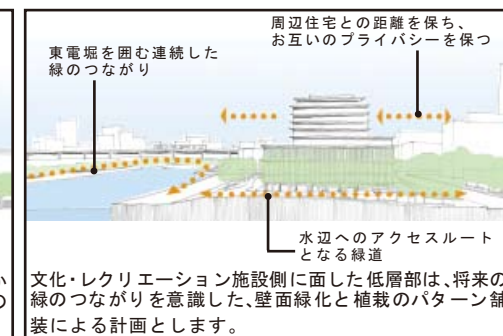
○建物各面の外観の考え方



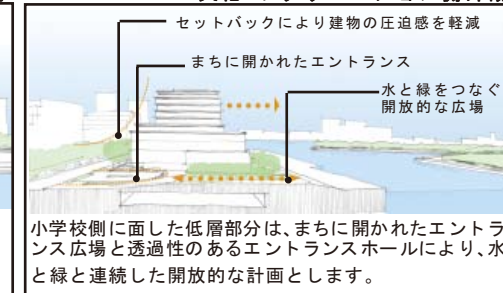
区道側外観



東電堀側外観



文化・レクリエーション側外観



小学校側外観

病棟のある高層部は、それぞれ条件の異なる環境に直接面することから、彫りの深いバルコニーと各条件に見合った角度のルーバーで計画します。

小学校側と東電堀に面した部分は、西日をさえぎりながら視界を確保できる計画とし、区道側と文化・レクリエーション施設側に面した部分は、近隣の住宅とのプライバシーを保つような計画とします。

□「パークホスピタル」＝「エコホスピタル」実現への取り組み

○緑陰と彫の深い建物の表情が生み出す 「パークホスピタル」

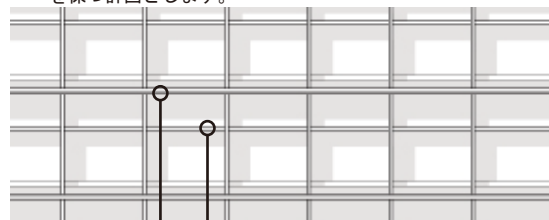
- ・彫の深い病棟の表情
- ・・・・バルコニー、ルーバー
- ・緑を取り込む透明感のある開放的なエントランス

○環境負荷が少なく快適な療養環境を実現する 「エコホスピタル」

- ・外部環境からの負荷を低減する・・・日差し、風
- ・外部環境への負荷を低減する・・・風、ヒートアイランド、雨水の流出抑制
- ・西向き、東向きの異なる日射条件への対応
- ・病棟や待合部分のプライバシー確保と眺望の確保

高層部（病棟）立面の考え方

- ①バルコニー、ルーバーの構成により、陰影のある彫の深い表情をもつ計画とします。
- ②高層部（病棟）をセットバックすることで、周辺との距離を確保しお互いのプライバシーを保つ計画とします。

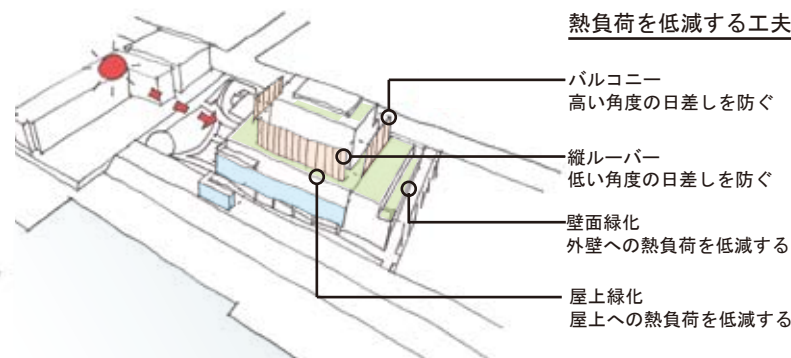
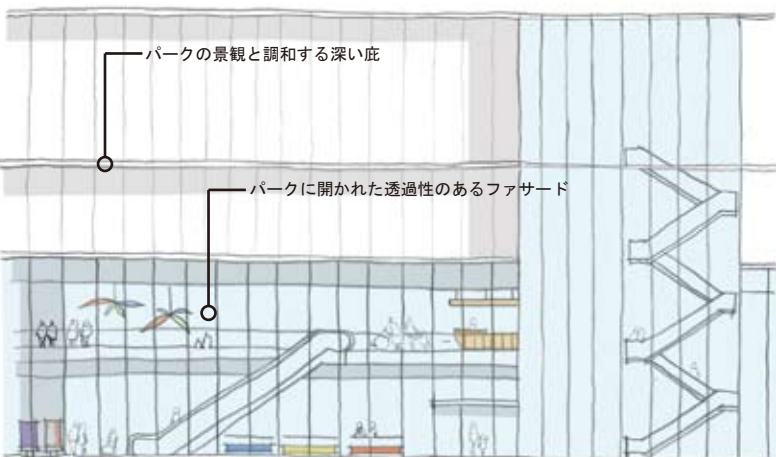


彫の深い病棟の表情：バルコニー・ルーバー



低層部立面（エントランス・診療部門等）の考え方

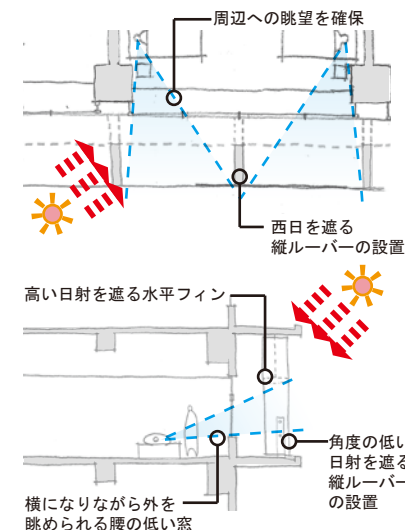
- ①エントランスホールは病院全体の顔として、まちに開かれた表情を持つ計画とします。
- ②検査部門や事務部門については、深い庇により熱負荷を低減し、パークの景観と調和した水平ラインを強調した計画とします。



熱負荷を低減する工夫

日射遮蔽の考え方

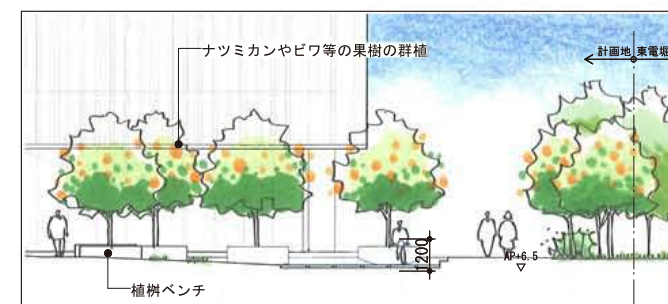
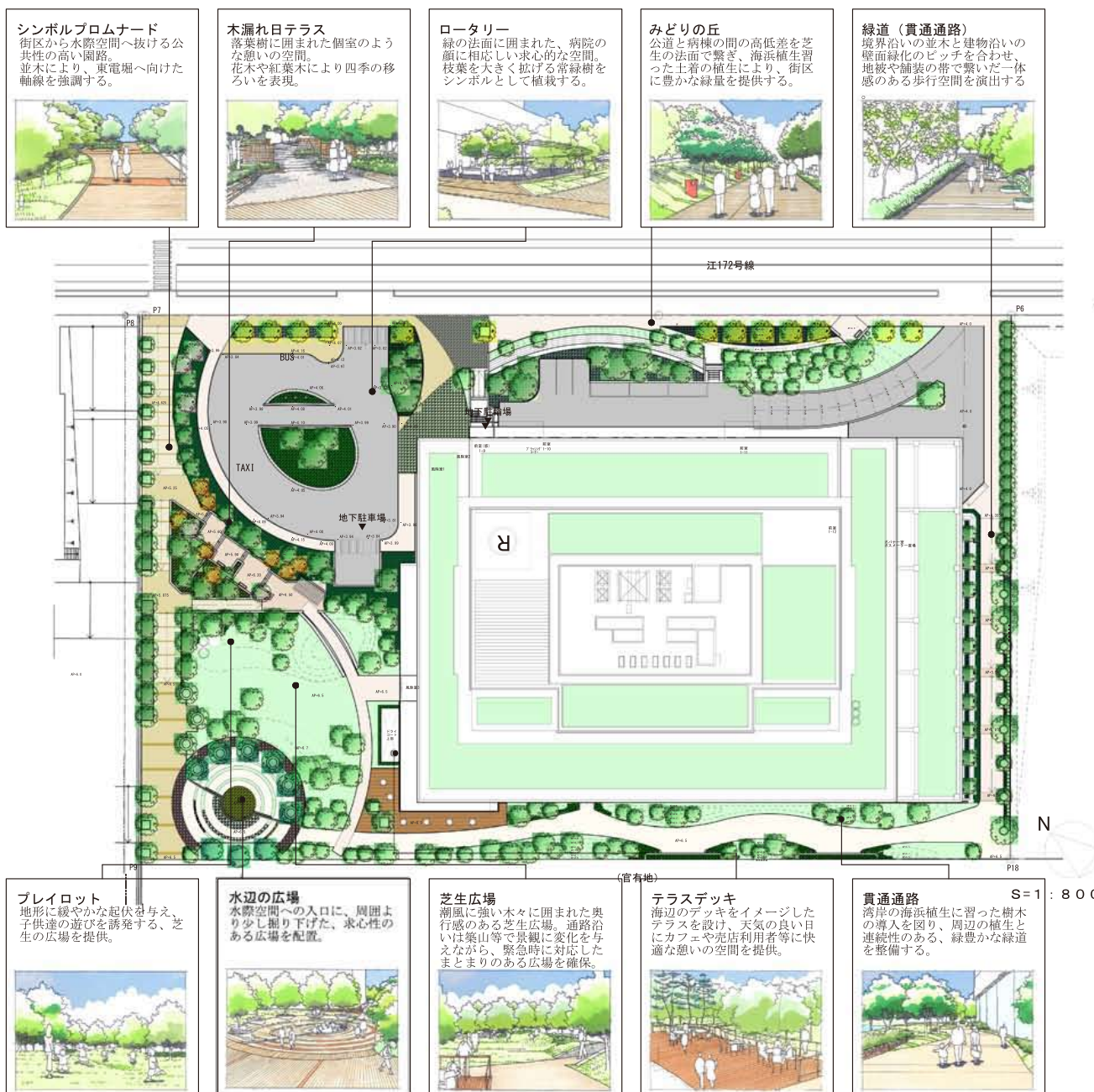
- ①太陽高度や方位に適したルーバー、バルコニー、縦ルーバー、水平のフィンにより病室への直達日射を低減します。
- ②東電掘をはじめとした、水際の眺望を確保した計画とします。



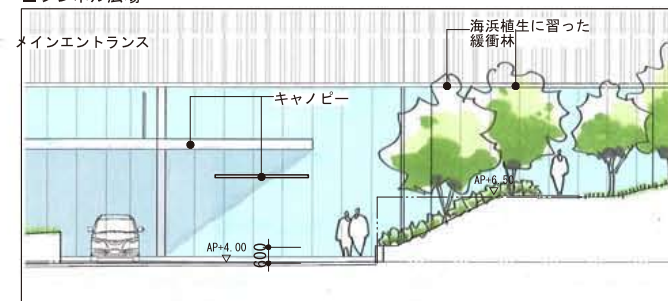
建物への日射

- ・北東面（区道）
太陽高度30°～40°の日差し
- ・南東面
（文化・レクリエーションゾーン）
太陽高度55°～78°の
高度が高い日差し
- ・南西面（東電掘）
春秋分の夕方太陽高度が低い日差し
- ・北西面（小学校）
夏至の夕方太陽高度が低い日差し

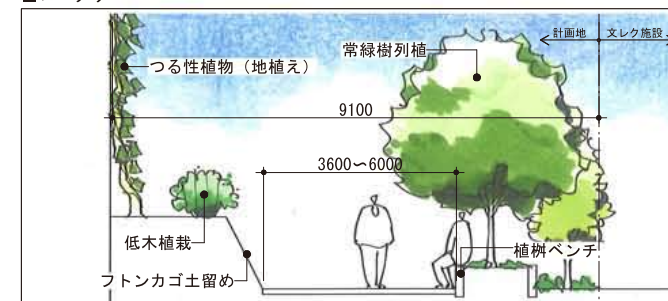




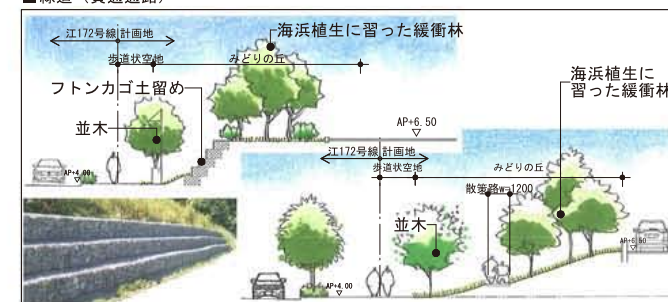
■シンボル広場



■ロータリー



■緑道（貫通通路）



■区道沿い高低差処理・みどりの丘

植栽計画

■シンボルツリー

ロータリーや広場に、ランドマークとなるような高木を植栽する
(候補樹)



クスノキ(常緑) クロガネモチ(常緑)



タイサンボク(常緑) ヤマモモ(常緑)



ナツミカン(常緑) シラカン(常緑)

■並木

街並みと連続した並木

■潮風を和らげる海浜植栽

風の道と直交させた方向に、耐潮性に優れた樹種による緑のスクリーンを配して、風の影響を緩和させる。樹種については、既往文献により、東京湾の土着植物を剪定し、地域生態系との連続性に考慮した計画とする。

(候補樹)



スダジイ(常緑) タブノキ(常緑) ウバメガシ(常緑) オオバヤシャブシ(落葉) カクレミノ(常緑) トベラ(常緑) シャリンバイ(常緑)

■木漏れ日テラス

ロータリーを取り囲む見晴らしの良い休憩スペースは、落葉高木の群植により、夏の日差しを和らげ、冬場の暖かな陽だまりを演出する

(候補樹)



エノキ(落葉) アキニレ(落葉) モミジ類(落葉) ムクゲ(落葉) フヨウ(落葉)

■並木

街並みと連続した並木

(候補樹)



マテバシイ(常緑) ナギ(常緑)



ユズリハ(常緑) シマサルズベリ(落葉)



プラタナス(落葉) オオシマザクラ(落葉)

凡例

	並木
	潮風を和らげる海浜植生
	シンボルツリー
	木漏れ日テラス

■植栽コンセプト

計画地は海浜部に立地し、海水面が近く、高い建物を計画するため、強い潮風の影響下にあることが予測される。病棟へのアクセス空間、公共性の高い憩いの空間や歩行空間の快適性を確保しつつ、屋外空間に潤いをもたらす豊かな植栽空間を形成するため、海浜植生に習った樹種を基調とした樹種選定により風の影響を緩和しつつ、利用に併せたテーマ性のある修景植栽を計画する。

Scale=1:600 (A3size)

